

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2014年4月4日
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期NZドル債オープン（毎月分配型） ・短期NZドル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 短期NZドル債マザーファンド ・ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	短期NZドル債オープン（毎月分配型） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 短期NZドル債マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

運用報告書（全体版）

第12作成期

決算日

第66期 2019年10月7日

第67期 2019年11月7日

第68期 2019年12月9日

第69期 2020年1月7日

第70期 2020年2月7日

第71期 2020年3月9日

短期NZドル債オープン （毎月分配型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（毎月分配型）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第12作成期（第66期～第71期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込金	期騰落	中率			
	円	円	%	(参考指数)	%	%	%	百万円
第42期 (2017年10月10日)	8,666	30	1.1	10,141	1.3	92.3	—	384
第43期 (2017年11月7日)	8,587	30	△0.6	10,077	△0.6	91.6	—	411
第44期 (2017年12月7日)	8,389	30	△2.0	9,885	△1.9	95.2	—	413
第45期 (2018年1月9日)	8,782	30	5.0	10,398	5.2	93.5	—	434
第46期 (2018年2月7日)	8,633	30	△1.4	10,283	△1.1	97.0	—	402
第47期 (2018年3月7日)	8,246	30	△4.1	9,868	△4.0	91.1	—	385
第48期 (2018年4月9日)	8,338	30	1.5	10,017	1.5	95.3	—	388
第49期 (2018年5月7日)	8,165	30	△1.7	9,848	△1.7	98.4	—	368
第50期 (2018年6月7日)	8,263	30	1.6	10,007	1.6	96.5	—	371
第51期 (2018年7月9日)	8,039	30	△2.3	9,770	△2.4	95.1	—	361
第52期 (2018年8月7日)	7,955	30	△0.7	9,707	△0.6	95.9	—	355
第53期 (2018年9月7日)	7,731	30	△2.4	9,460	△2.5	96.8	—	344
第54期 (2018年10月9日)	7,705	30	0.1	9,482	0.2	96.9	—	343
第55期 (2018年11月7日)	8,062	30	5.0	9,962	5.1	91.9	—	355
第56期 (2018年12月7日)	8,171	30	1.7	10,127	1.7	93.9	—	345
第57期 (2019年1月7日)	7,711	30	△5.3	9,559	△5.6	93.2	—	322
第58期 (2019年2月7日)	7,843	30	2.1	9,752	2.0	97.0	—	292
第59期 (2019年3月7日)	7,969	30	2.0	9,939	1.9	96.4	—	294
第60期 (2019年4月8日)	7,913	30	△0.3	9,883	△0.6	96.9	—	290
第61期 (2019年5月7日)	7,702	30	△2.3	9,662	△2.2	95.9	—	278
第62期 (2019年6月7日)	7,581	30	△1.2	9,524	△1.4	96.7	—	272
第63期 (2019年7月8日)	7,605	30	0.7	9,571	0.5	97.0	—	273
第64期 (2019年8月7日)	7,341	30	△3.1	9,260	△3.2	95.4	—	261
第65期 (2019年9月9日)	7,271	30	△0.5	9,194	△0.7	91.3	—	258
第66期 (2019年10月7日)	7,121	30	△1.7	9,039	△1.7	93.1	—	248
第67期 (2019年11月7日)	7,223	30	1.9	9,277	2.6	98.0	—	249
第68期 (2019年12月9日)	7,354	30	2.2	9,517	2.6	98.5	—	247
第69期 (2020年1月7日)	7,434	30	1.5	9,668	1.6	96.2	—	245
第70期 (2020年2月7日)	7,290	30	△1.5	9,503	△1.7	97.4	—	238
第71期 (2020年3月9日)	6,683	30	△7.9	8,692	△8.5	97.7	—	218

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

* 基準価額の騰落率は分配金込み

* 先物組入比率は、買建比率－売建比率

* 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債 組入比率	債券先 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
第66期	(期首) 2019年9月9日	円 7,271	% -	9,194	% -	% 91.3	% -
	9月末	7,159	△1.5	9,061	△1.4	92.7	-
	(期末) 2019年10月7日	7,151	△1.7	9,039	△1.7	93.1	-
第67期	(期首) 2019年10月7日	7,121	-	9,039	-	93.1	-
	10月末	7,326	2.9	9,349	3.4	97.4	-
	(期末) 2019年11月7日	7,253	1.9	9,277	2.6	98.0	-
第68期	(期首) 2019年11月7日	7,223	-	9,277	-	98.0	-
	11月末	7,328	1.5	9,405	1.4	96.7	-
	(期末) 2019年12月9日	7,384	2.2	9,517	2.6	98.5	-
第69期	(期首) 2019年12月9日	7,354	-	9,517	-	98.5	-
	12月末	7,574	3.0	9,828	3.3	96.5	-
	(期末) 2020年1月7日	7,464	1.5	9,668	1.6	96.2	-
第70期	(期首) 2020年1月7日	7,434	-	9,668	-	96.2	-
	1月末	7,315	△1.6	9,478	△2.0	97.3	-
	(期末) 2020年2月7日	7,320	△1.5	9,503	△1.7	97.4	-
第71期	(期首) 2020年2月7日	7,290	-	9,503	-	97.4	-
	2月末	7,129	△2.2	9,250	△2.7	97.0	-
	(期末) 2020年3月9日	6,713	△7.9	8,692	△8.5	97.7	-

*騰落率は期首比です。

*期末基準価額は分配金込み

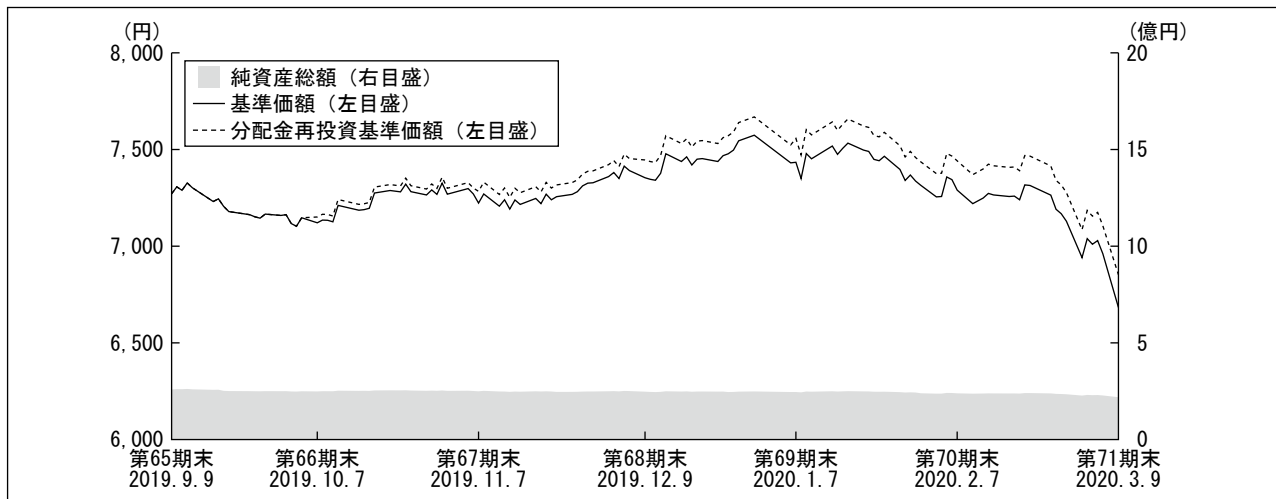
*先物組入比率は、買建比率-売建比率

*当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第66期首：7,271円

第71期末：6,683円（作成対象期間における期中分配金合計額 180円）

騰落率：△5.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

債券利回りの低下により、債券のインカムゲイン、キャピタルゲインが基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

ニュージーランドドル円の下落が基準価額の下落要因となりました。

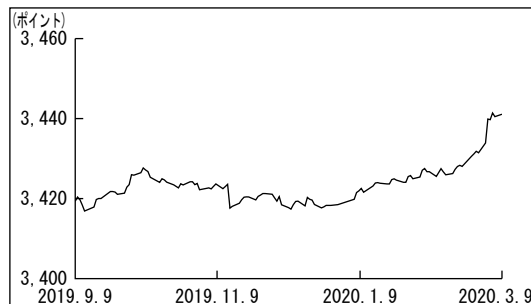
短期NZドル債オープン（毎月分配型）

【投資環境】

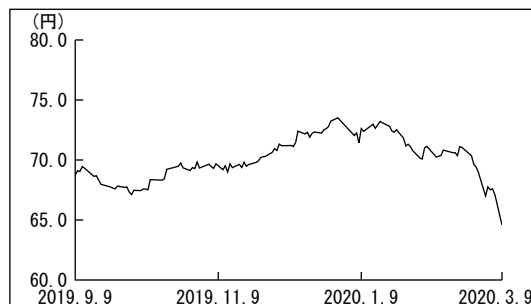
当作成期、ニュージーランド国債の利回りは低下しました。作成期初から2019年末までは、米中貿易交渉が進展、妥結に至ったことでリスクセンチメントが回復しました。米中貿易交渉への懸念とする大幅な利回り低下を巻き戻す動きから、世界的に債券利回りが上昇し、ニュージーランド国債利回りも上昇基調となりました。2020年初め以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染が中国内で広がり、その後中国外の国々へ拡大したことで景気減速懸念が強まり、世界的に株式市場が急落するなどリスクオフ相場となったことで各国の債券利回りは急低下しました。ニュージーランド国債利回りも低下し、前作成期末対比でも低下となりました。

ニュージーランドドル円相場は下落しました。債券と同様、作成期初から2019年末にかけてはリスクオン相場を背景に、ニュージーランドドル円相場は上昇したものの、2020年初め以降に下落に転じ、作成期末には前作成期末対比で下落となりました。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



為替レート（ニュージーランドドル／円）の推移



短期NZドル債オープン（毎月分配型）

【ポートフォリオ】

■短期NZドル債オープン（毎月分配型）

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な公社債組入比率は97.7%としました。

■短期NZドル債マザーファンド

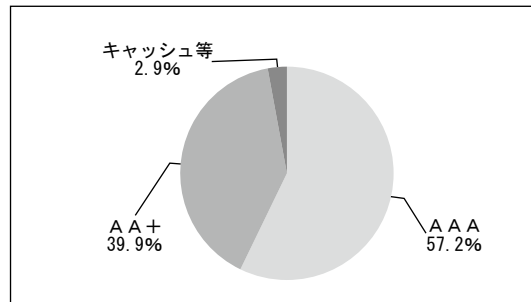
当作成期の騰落率は、△5.2%となりました。

当作成期は、債券のデュレーション*を運用の制限内で長めに維持したことが奏功しました。国内景気の鈍化を受けてRBNZ（ニュージーランド準備銀行）が政策金利を低位に据え置く中、作成期初から長めとしていたデュレーションを、金利が上昇基調にあった2019年10月末にさらに引き上げました。その後、年末までは利回りが上昇基調となったものの、2020年の年初以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から利回りは急激に低下し、作成期初を下回る水準まで低下しました。債券利回りの低下がプラスに寄与しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

格付別資産構成

(2020年3月9日現在)



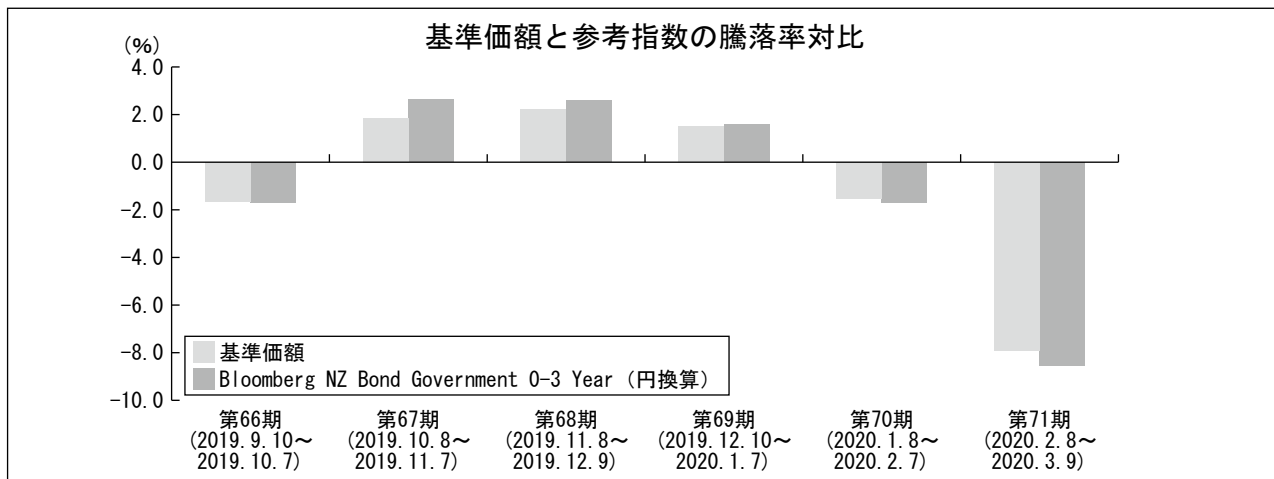
*純資産総額に対する評価額の割合

*グラフの格付表記はS&Pの格付記号で表示しています。

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第66期～第71期の各期において30円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	0.42	0.41	0.41	0.40	0.41	0.45
当期の収益 (円)	11	19	20	19	13	12
当期の収益以外 (円)	18	11	9	11	16	18
翌期繰越分配対象額 (円)	738	728	719	708	691	674

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

今後の運用方針

■短期NZドル債オープン（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■短期NZドル債マザーファンド

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束していないことや、各国の移動制限や自粛要請などを背景に今後の経済指標等に悪影響が表れることが懸念される中、金利の上昇余地は大きくないと考えています。また、市場の混乱を受けて中央銀行への緩和期待が高まることで、当面は金利低下圧力が続くと考えています。

今後の運用方針については、デュレーションを長めに維持することを基本としつつ、新型コロナウイルスの実体経済への影響や各国政府・中央銀行の対応を見極め、機動的に調整を行う方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

1万口当りの費用明細

項目	第66期～第71期		項目の概要
	2019年9月10日～2020年3月9日		
	金額	比率	
信託報酬	45円	0.619%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は7,305円です。
（投信会社）	(22)	(0.301)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(22)	(0.301)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	14	0.186	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(13)	(0.180)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	59	0.804	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

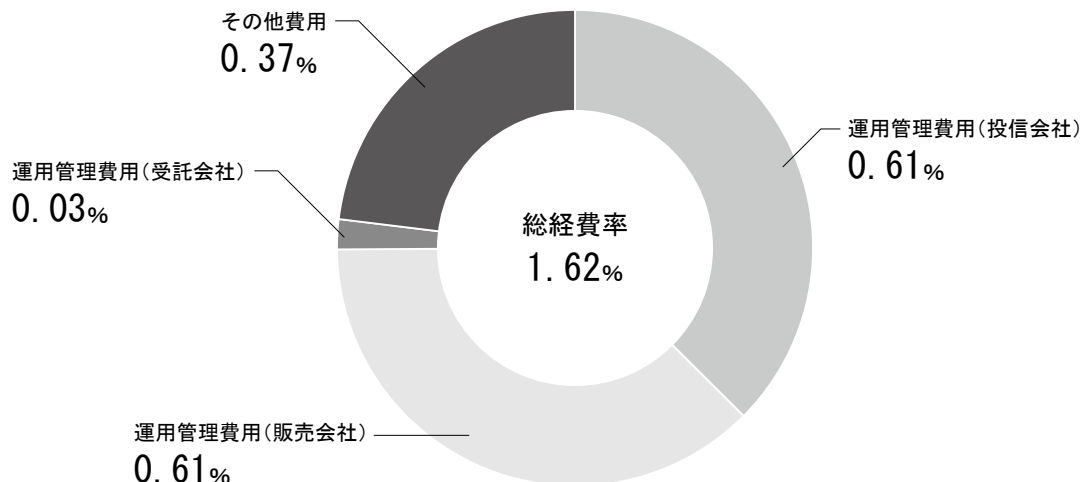
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

参考情報 総経費率（年率換算）



*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.62%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年9月10日から2020年3月9日まで）

決 算 期	第 66 期 ～ 第 71 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 9,955	千円 9,799	千口 38,926	千円 38,211

短期NZドル債オープン（毎月分配型）

利害関係人との取引状況等

（2019年9月10日から2020年3月9日まで）

■利害関係人との取引状況

<短期NZドル債オープン（毎月分配型）>

当作成期における利害関係人との取引はありません。

<短期NZドル債マザーファンド>

区 分	第 66 期 ~ 第 71 期			第 71 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為 替	百万円 1,191	百万円 191	% 16.1	百万円 1,222	百万円 191	% 15.7

*平均保有割合89.0%

*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友銀行です。

組入資産の明細

2020年3月9日現在

■親投資信託残高

	第 65 期 末	第 71 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 268,898	千口 239,928	千円 220,134

*短期NZドル債マザーファンド全体の受益権口数は、270,005千口です。

投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
短期NZドル債マザーファンド	千円 220,134	% 100.0
投資信託財産総額	220,134	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=64.59円

*短期NZドル債マザーファンド

当期末における外貨建資産（243,335千円）の投資信託財産総額（247,991千円）に対する比率 98.1%

短期N Zドル債オープン（毎月分配型）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月7日) (2019年11月7日) (2019年12月9日) (2020年1月7日) (2020年2月7日) (2020年3月9日)現在

項 目	第 66 期 末	第 67 期 末	第 68 期 末	第 69 期 末	第 70 期 末	第 71 期 末
(A) 資 産	250,121,908円	251,239,857円	250,693,339円	247,400,983円	240,251,625円	220,134,381円
短期N Zドル債マザーファンド(評価額)	250,121,908	250,814,119	250,693,339	247,068,762	240,251,625	220,134,381
未 収 入 金	—	425,738	—	332,221	—	—
(B) 負 債	1,289,224	1,769,187	3,113,453	1,577,471	1,253,279	1,244,467
未 払 収 益 分 配 金	1,048,365	1,036,158	1,009,918	992,070	983,571	982,652
未 払 解 約 金	1,068	462,779	1,826,332	332,221	—	—
未 払 信 託 報 酬	237,704	265,827	270,403	244,234	258,489	248,414
そ の 他 未 払 費 用	2,087	4,423	6,800	8,946	11,219	13,401
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	248,832,684	249,470,670	247,579,886	245,823,512	238,998,346	218,889,914
元 本	349,455,238	345,386,026	336,639,645	330,690,102	327,857,310	327,550,886
次 期 繰 越 損 益 金	△100,622,554	△ 95,915,356	△ 89,059,759	△ 84,866,590	△ 88,858,964	△108,660,972
(D) 受 益 権 総 口 数	349,455,238口	345,386,026口	336,639,645口	330,690,102口	327,857,310口	327,550,886口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	7,121円	7,223円	7,354円	7,434円	7,290円	6,683円

* 元本状況

期首元本額	355,913,865円	349,455,238円	345,386,026円	336,639,645円	330,690,102円	327,857,310円
期中追加設定元本額	1,517,217円	1,599,214円	2,781,884円	3,633,377円	2,279,049円	1,559,651円
期中一部解約元本額	7,975,844円	5,668,426円	11,528,265円	9,582,920円	5,111,841円	1,866,075円

* 元本の欠損

100,622,554円	95,915,356円	89,059,759円	84,866,590円	88,858,964円	108,660,972円
--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

損益の状況

自2019年9月10日 自2019年10月8日 自2019年11月8日 自2019年12月10日 自2020年1月8日 自2020年2月8日
至2019年10月7日 至2019年11月7日 至2019年12月9日 至2020年1月7日 至2020年2月7日 至2020年3月9日

項 目	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,965,841円	4,833,281円	5,706,289円	3,799,613円	△ 3,465,740円	△ 18,640,616円
売 買 損 益	22,472	4,908,656	5,769,603	3,870,328	41,733	28,649
売 買 損 益	△ 3,988,313	△ 75,375	△ 63,314	△ 70,715	△ 3,507,473	△ 18,669,265
(B) 信 託 報 酬 等	△ 239,791	△ 268,163	△ 272,780	△ 246,380	△ 260,762	△ 250,596
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 4,205,632	4,565,118	5,433,509	3,553,233	△ 3,726,502	△ 18,891,212
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 65,664,191	△ 69,566,337	△ 63,479,321	△ 57,084,045	△ 53,326,023	△ 57,185,192
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△ 29,704,366	△ 29,877,979	△ 30,004,029	△ 30,343,708	△ 30,822,868	△ 31,601,916
(配 当 等 相 当 額)	(26,014,331)	(25,506,140)	(24,492,633)	(23,766,227)	(23,205,095)	(22,662,397)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 55,718,697)	(△ 55,384,119)	(△ 54,496,662)	(△ 54,109,935)	(△ 54,027,963)	(△ 54,264,313)
(F) 計 (C + D + E)	△ 99,574,189	△ 94,879,198	△ 88,049,841	△ 83,874,520	△ 87,875,393	△ 107,678,320
(G) 収 益 分 配 金	△ 1,048,365	△ 1,036,158	△ 1,009,918	△ 992,070	△ 983,571	△ 982,652
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△ 100,622,554	△ 95,915,356	△ 89,059,759	△ 84,866,590	△ 88,858,964	△ 108,660,972
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△ 29,914,039	△ 30,257,903	△ 30,307,004	△ 30,707,467	△ 31,347,439	△ 32,191,507
(配 当 等 相 当 額)	(25,806,589)	(25,128,731)	(24,193,564)	(23,405,449)	(22,683,591)	(22,074,543)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 55,720,628)	(△ 55,386,634)	(△ 54,500,568)	(△ 54,112,916)	(△ 54,031,030)	(△ 54,266,050)
分 配 準 備 積 立 金	13,104	30,355	19,729	22,161	1,997	26,554
繰 越 損 益 金	△ 70,721,619	△ 65,687,808	△ 58,772,484	△ 54,181,284	△ 57,513,522	△ 76,496,019

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

短期N Zドル債オープン（毎月分配型）

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期
(A) 配当等収益(費用控除後)	395,322円	673,697円	697,323円	631,303円	439,175円	417,630円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	26,016,262	25,508,655	24,496,539	23,769,208	23,208,162	22,664,134
(D) 分配準備積立金	456,474	12,892	29,349	19,169	21,822	1,985
分配可能額(A+B+C+D)	26,868,058	26,195,244	25,223,211	24,419,680	23,669,159	23,083,749
(1万口当り分配可能額)	(768.86)	(758.43)	(749.26)	(738.45)	(721.93)	(704.74)
収益分配金	1,048,365	1,036,158	1,009,918	992,070	983,571	982,652
(1万口当り収益分配金)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)

分配金のお知らせ

決 算 期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
1万口当り分配金(税込)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

短期NZドル債マザーファンド

運用報告書

決算日：2020年3月9日

(第12期：2019年9月10日～2020年3月9日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

短期NZドル債マザーファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第8期 (2018年3月7日)	10,048	△1.4	9,868	△1.4	90.7	—	百万円 432
第9期 (2018年9月7日)	9,695	△3.5	9,460	△4.1	96.2	—	389
第10期 (2019年3月7日)	10,289	6.1	9,939	5.1	95.9	—	329
第11期 (2019年9月9日)	9,675	△6.0	9,194	△7.5	90.8	—	291
第12期 (2020年3月9日)	9,175	△5.2	8,692	△5.5	97.1	—	247

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*先物組入比率は、買建比率-売建比率

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年9月9日	9,675	—	9,194	—	90.8	—
9月末	9,534	△1.5	9,061	△1.4	92.7	—
10月末	9,808	1.4	9,349	1.7	97.2	—
11月末	9,860	1.9	9,405	2.3	96.7	—
12月末	10,243	5.9	9,828	6.9	96.4	—
2020年1月末	9,943	2.8	9,478	3.1	95.9	—
2月末	9,739	0.7	9,250	0.6	96.9	—
(期末) 2020年3月9日	9,175	△5.2	8,692	△5.5	97.1	—

*騰落率は期首比です。

*先物組入比率は、買建比率-売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：9,675円

期末：9,175円

騰落率：△5.2%

【基準価額の主な変動要因】

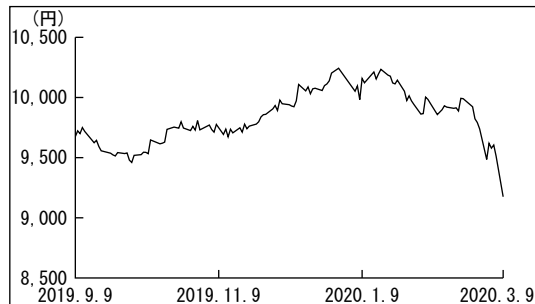
(上昇要因)

債券利回りの低下により、債券のインカムゲイン、
キャピタルゲインが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

ニュージーランドドル円の下落が基準価額の下落要因
となりました。

基準価額の推移



短期NZドル債マザーファンド

【投資環境】

当期、ニュージーランド国債の利回りは低下しました。期初から2019年末までは、米中貿易交渉が進展、妥結に至ったことでリスクセンチメントが回復しました。米中貿易交渉への懸念とする大幅な利回り低下を巻き戻す動きから、世界的に債券利回りが上昇し、ニュージーランド国債利回りも上昇基調となりました。2020年初め以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染が中国内で広がり、その後中国外の国々へ拡大したことで景気減速懸念が強まり、世界的に株式市場が急落するなどリスクオフ相場となったことで各国の債券利回りは急低下しました。ニュージーランド国債利回りも低下し、前期末対比でも低下となりました。ニュージーランドドル円相場は下落しました。債券と同様、期初から2019年末にかけてはリスクオン相場を背景に、ニュージーランドドル円相場は上昇したものの、2020年初め以降に下落に転じ、期末には前期末対比で下落となりました。

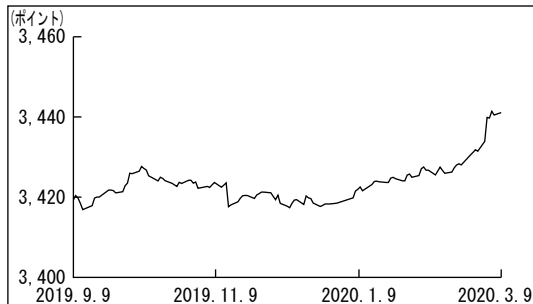
【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、△5.2%となりました。

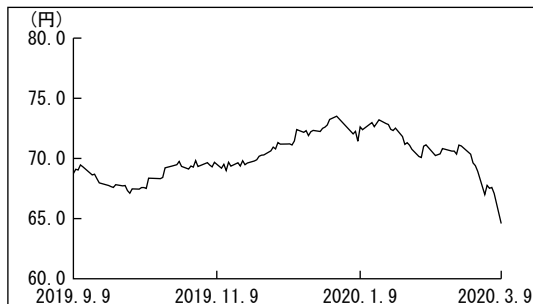
当期は、債券のデュレーション*を運用の制限内で長めに維持したことが奏功しました。国内景気の鈍化を受けてRBNZ（ニュージーランド準備銀行）が政策金利を低位に据え置く中、期初から長めとしていたデュレーションを、金利が上昇基調にあった2019年10月末にさらに引き上げました。その後、年末までは利回りが上昇基調となったものの、2020年の年初以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から利回りは急激に低下し、期初を下回る水準まで低下しました。債券利回りの低下がプラスに寄与しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移

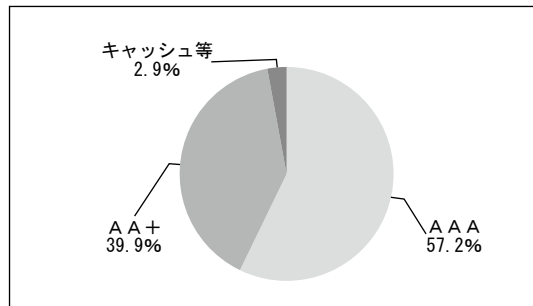


為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



格付別資産構成

(2020年3月9日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

*グラフの格付表記はS&Pの格付記号で表示しています。

短期NZドル債マザーファンド

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

基準価額の騰落率は、参考指数であるBloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）の騰落率△5.5%を0.3%上回りました。

今後の運用方針

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束していないことや、各国の移動制限や自粛要請などを背景に今後の経済指標等に悪影響が表れることが懸念される中、金利の上昇余地は大きくないと考えています。また、市場の混乱を受けて中央銀行への緩和期待が高まることで、当面は金利低下圧力が続くと考えています。

今後の運用方針については、デュレーションを長めに維持することを基本としつつ、新型コロナウイルスの実体経済への影響や各国政府・中央銀行の対応を見極め、機動的に調整を行う方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年9月10日～2020年3月9日		
	金額	比率	
その他費用	18円	0.179%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(18)	(0.179)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	18	0.179	
期中の平均基準価額は9,855円です。			

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 円未満は四捨五入しています。

短期NZドル債マザーファンド

売買及び取引の状況

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

■公社債

		買付額		売付額	
外国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランド・ドル 150	千ニュージーランド・ドル	251
		特殊債証券	306	—	(300)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

■公社債

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金額	銘	柄	金額
NORDIC INVESTMENT BANK 3.125 03/18/21		千円 21,653	NEW ZEALAND GOVERNMENT 3.04/15/20		千円 18,197
NEW ZEALAND GOVERNMENT 1.5 05/15/31		10,528			

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

■利害関係人との取引状況

区	分	当			期		
		買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為	替	百万円 1,191	百万円 191	% 16.1	百万円 1,222	百万円 191	% 15.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友銀行です。

短期NZドル債マザーファンド

組入資産の明細

2020年3月9日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち BB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 3,600	千ニュージーランド・ドル 3,724	千円 240,568	% 97.1	% —	% 25.4	% 5.9	% 65.7
合 計	—	—	240,568	97.1	—	25.4	5.9	65.7

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘 柄	当 期				末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(ニュージーランド・ドル…ニュージーランド)		%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円		
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	100	106	6,872	2021/05/15	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	3.0000	150	150	9,708	2020/04/15	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	1.5000	150	156	10,098	2031/05/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	200	211	13,688	2021/05/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.5000	200	227	14,668	2023/04/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	3.0000	500	500	32,355	2020/04/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	1.5000	600	591	38,185	2029/04/20	
NORDIC INVESTMENT BANK	特殊債券	3.1250	300	306	19,812	2021/03/18	
KOMMUNALBANKEN AS	特殊債券	5.1250	700	734	47,409	2021/05/14	
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	3.5000	500	511	33,018	2021/01/22	
HOUSING NEW ZEALAND LTD	特殊債券	3.4200	200	228	14,749	2028/10/18	
合 計	—	—	3,600	3,724	240,568	—	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 240,568	% 97.0	千円 7,423	% 3.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	247,991	100.0	247,991	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額				

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=64.59円

*当期末における外貨建資産（243,335千円）の投資信託財産総額（247,991千円）に対する比率 98.1%

短期N Zドル債マザーファンド

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月9日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	262,306,560円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,540,241
公 社 債(評価額)	240,568,103
未 収 入 金	14,430,935
未 収 利 息	2,537,711
前 払 費 用	229,570
(B) 負 債	14,571,125
未 払 金	14,571,125
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	247,735,435
元 本	270,005,503
次 期 繰 越 損 益 金	△ 22,270,068
(D) 受 益 権 総 口 数	270,005,503口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	9,175円

* 元本状況

期首元本額	300,996,711円
期中追加設定元本額	11,665,755円
期中一部解約元本額	42,656,963円

* 元本の内訳

短期N Zドル債オープン (毎月分配型)	239,928,481円
短期N Zドル債オープン (資産成長型)	30,077,022円

* 元本の欠損

22,270,068円

損益の状況

自2019年9月10日
至2020年3月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,535,148円
受 取 利 息	4,538,396
支 払 利 息	△ 3,248
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△17,115,150
売 買 益	13,598,702
売 買 損	△30,713,852
(C) そ の 他 費 用	△ 497,327
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△13,077,329
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 9,770,035
(F) 解 約 差 損 益 金	736,409
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 159,113
(H) 計 (D+E+F+G)	△22,270,068
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△22,270,068

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。